



☆明けましておめでとうございます☆



診療放射線技師統括部長
山本 和也



新年あけましておめでとうございます。旧年中は、放射線部に多大なるご支援、ご協力を頂き心より感謝申し上げます。さて、旧年は皆様にとってどのような一年でしたでしょうか？おそらく国民の多くの方は、新型コロナウイルス感染拡大により経験したことがない不安な時間を過ごされ、感染を予防するための「新しい生活様式」の実践が求められました。私共の放射線部においても新型コロナウイルス感染症疑いの患者さまを検査するため、万全な感染予防対策に努めて参りました。スタッフのコロナ感染防止に対する意識も確実に向上したと実感しております。

令和3年も皆さまと共に、コロナ感染拡大の完全終息に努め、再び安心して生活できる日が戻ってくることを心から願っております。また放射線部一同チーム医療と社会貢献に努めて参りますので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

当院の骨密度検査の紹介

骨密度検査について

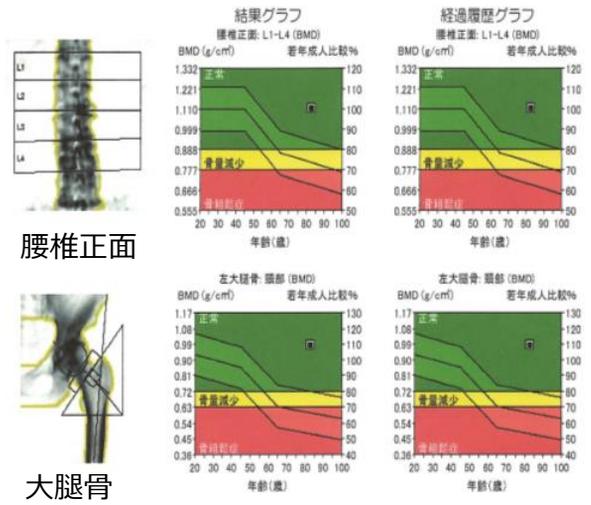
- ・骨折の発生しやすい腰椎部、大腿骨部の骨密度を直接測定することが出来ます。
- ・検査時間は15分程度です。

骨密度測定目的

骨密度測定は、骨粗鬆症とそれによって生じる骨折のリスクを判断することを目的に検査を行います。骨密度低下は加齢に伴う骨形成機能低下や閉経後のホルモンの急激な低下が原因に挙げられます。

骨密度検査で分かること

- ・患者様自身の骨密度
- ・患者様と同年齢の平均との比較
- ・若年成人の平均と比較(Young Adult Mean)
- ・骨粗鬆症の診断
- ・患者様自身の骨密度の結果の経過 など



骨密度測定結果



整形外科医
清水 聡志 副院長

★担当医師から一言★

『65歳を過ぎたら「いつのまにか骨折」の検査をしましょう・・・』、ある製薬会社のキャッチコピーです。背骨は骨粗しょう症によっていつのまにか骨折していることがあり、65歳という年齢からそのリスクは急に高くなります。このような骨折を予防するために骨粗しょう症治療にはいくつかの選択肢があります。65歳を過ぎたら骨密度検査を行って、骨塩量が少ない方は「いつのまにか骨折」を起こす前に骨粗しょう症治療を開始しましょう。



放射線部ウェブサイトは
こちらのQRコードから



当院の骨密度測定装置
GE 社製PRODIGY

CT・MRI検査など緊急の場合は個別相談にて対応させていただきます。お気軽にお問い合わせください。

ご予約・お問い合わせは
地域医療連携室まで

TEL 0532-31-2528
FAX 0532-31-2279

受付時間 8:30~17:30 (月~金)
8:30~12:30 (土)



© toyohashi city.toyocky